

福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

①第三者評価機関名

社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会

②施設・事業所情報

名称：公益財団法人 鉄道弘済会 和歌山認定こども園	種別：保育所型認定こども園	
代表者氏名： 林 正樹	定員（利用人数）： 114名	
所在地： 和歌山市中132番地3号		
TEL：073-455-1983	ホームページ： https://www.kousaikai.or.jp/sukoyaka/wakayama/	
〔施設・事業所の概要〕		
開設年月日 1951年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：公益財団法人 鉄道弘済会		
職員数	常勤職員： 23名 非常勤職員 4名	
専門職員	（専門職の名称） 名 調理師 2名	
	保育士 22名	
	栄養士 1名	
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）	
	保育室 6室 子育て支援室 1室 遊戯室 1室 給食室 1室 一時保育室 1室 相談室1室 園庭 絵本コーナー	

③理念・基本方針

（理念）一人ひとりの子どもを大切にし、保護者や地域社会から信頼され、選ばれる保育所を目指す。
（基本方針）○1人ひとりの子どもの生活リズムを大切にし、のびのびと安心して過ごせる生活の場を保ち、心身の健康増進を図ります。
○地域の保育所として、家庭と地域の理解と協力を得ながら、地域や保護者の子育てを支援します。
○生活と遊びをとおして、一人ひとりの子どもの社会性を養い、自主性と協調性を培います。

④施設・事業所の特徴的な取組

公益財団法人鉄道弘済会として、全国規模で展開されている。当認定こども園も和歌山保育所として開園（1951年）されてからの歴史は古く、広い現在の地に新築移転されてからは認定こども園（保育所型）となり、新興住宅地を背に多様化する保育ニーズに合わせた保育サービスの質の充実、向上に積極的に取り組んでいる。新築された園舎は内部も広々として、各保育室も木の温もりとともに落ち着いた温かい雰囲気にも包まれている。車社会の中において子どもの安全と保護者の注意喚起のため、送迎時には管理者自らが（ガードマン-朝のみ）園舎周囲の状況を確認しつつ安全確保に積極的に取り組んでいる。共用部分の清掃等（トイレも含め）外部委託されている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年5月9日（契約日）～ 令和5年11月7日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（平成29年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

・常に職員全員が、保育の質の向上を目指しながら、職員自身のスキルアップのために、研修への参加、自己評価への取り組み等が定期的に行われている。
・保育の継続性を大切にしながらも、子どもの思いを受け止めつつ、子どもが主体的に遊びが展開されるよう柔軟な対応での保育が工夫されている。
・月に1度、体育指導に外部講師を招聘（今年度より）して、子どもへの指導（午前中）と共に、午後は、子どもの体力向上に向けての保育士の役割等について園内研修として取り組んでいる。

◇改善を求められる点

・新築移転されてから、新型コロナウイルス感染症の爆発的な流行期に入ったため、対外関係は自粛を余儀なくされたとは思いますが、今後、やはり地域に開かれた子ども園を目指し、積極的な地域との交流を模索されたい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業者のコメント

当こども園は、公益財団法人鉄道弘済会が運営する24園の中の1園で、昭和26年に初めて和歌山保育所として開設し、令和2年に保育所型こども園となった歴史のあるこども園です。
第三者評価は過去数回受信していますが、受診するたびに、園の強み、弱みがはっきりと理解でき、職員全員で強みを伸ばし、弱みを改善することで、「保育の質」の向上に取り組んでいます。
今回の評価を受け、小学校との連携や地域との交流を強化し、地域に開かれたこども園、地域の方々から選ばれるこども園を目指してまいります。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事業について公表する。

保育所版 評価結果シート② 【共通評価基準】

【自己評価の実施にあたって】

- 第三者評価基準「評価の着眼点」や「評価基準の考え方と評価の留意点」を参考に自己評価をしてください。
- 評価結果は、「自己評価結果欄」のドロップダウンから選択してください(「a・b・c」)。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「☑欄」のドロップダウンから選択してください(「□・☑」)。

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	☑	ア 理念、基本方針が法人、保育所内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 理念は、法人、保育所が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人、保育所の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	法人本部の保育理念等に基づき、園独自の理念、基本方針は明確かつ具体化が可能な内容となっている。理念、基本方針は、園での掲示、パンフレット、ホームページ等各種広報媒体や職員へ配布されている。理念、基本方針の内容は職員会議でも唱和され、行動規範の一部となっている。見学者(保護者)への小冊子「入園のしおり」や保護者用アプリに掲載し、常に参照できるよう工夫されている。		☑	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			☑	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			☑	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			☑	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			☑	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	☑	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		□	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	安定的な経営基盤の確立と持続的なサービスの提供を行うため、社会福祉事業全体の動向、地域での保育ニーズや利用者像の変化等を分析し、経営環境を把握されている。コスト分析等により経営状況を的確に把握されている。		☑	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			☑	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	☑	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	経営課題は法人本部の中期経営計画、西日本支部のアクションプランで共有されている。アクションプランに基づく園独自の「具体的なアクションプラン」を策定している。年度初めの職員の個人目標の設定と園長との意見交換により、地域に愛され、地域に貢献できる園づくりを目指して、日常的に全職員の創意工夫が称えられるように取組まれている。		☑	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			☑	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	☑	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	「中期経営計画2023~2027」は法人本部で策定され、こども園を含む法人の各事業の経営計画となっており、法人として各事業の今後の見通しが立てられている。園内掲示等で職員に周知されている。園独自の「具体的なアクションプラン」の実施等を通じ、法人本部との情報共有、見直しが行われる仕組みとなっている。		☑	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			☑	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	☑	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	法人本部の中期経営計画を踏まえて、法人本部の単年度の事業計画、支部のアクションプラン、園独自のアクションプランが順に策定され、個々の職員が行う具体的な取組みにつながっている。園での実施状況は支部で共有され、支部で評価される仕組みとなっている。		☑	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			☑	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。

保育所版 評価結果シート② 【共通評価基準】

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	法人本部の事業計画策定にあたっては、本部と現場職員が職場の課題や質の向上等の意見交換を行い、次年度の事業計画に反映させている。園としての事業計画やアクションプランの策定は、法人本部や西日本支部の方針に基づきつつ、職員の意見を取り入れながら策定され、職員会議で周知、理解を促す取組みがされている。また、組織的に評価され、見直しされている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	支部方針(アクションプラン)等を園内に掲示し保護者等に周知している。保護者会では、一部役員に対してのみの説明にとどまっているため、今後の取組に期待される。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	法人として各園ごとの自己評価を職員参加のもとに毎年実施し、第三者評価結果とともにホームページに掲載されている。具体的取組としては、法人のキャリアパスプランに基づき、各リーダーの設定や毎年の職員研修計画等により実施され、組織的に分析・検討されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	職員間で課題の共有化が図られている。
	課題への組織的取組として、「支部のアクションプラン」「園独自のアクションプラン」を活用し、職員会議等で振り返りを行い、出来なかったことがある場合は次年度に持ち越して達成を図っている。各職員の上期下期振り返りや自己評価も「アクションプラン」を参照して実施されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
	園長は自らの役割と責任を明確にし、職員会議等で説明されている。職務分掌表を作成し、職員会議等で職員に説明し周知されている。災害、事故等の発生時における体制や役割分担等を明確にするとともに、園長不在時の権限委任も明確に表示し、職員への説明と掲示により周知している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	園長は遵守すべき法令等を理解している。コンプライアンス、ハラスメントに関わる遵守すべき法令は職員会議等で周知されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

保育所版 評価結果シート②
【共通評価基準】

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
具体例としては、年2回の職員面接の意見を取り入れ、今年度から部外講師による体育指導研修を開始し、園児への直接指導と保育士への指導の機会を設けたことなど、保育業務の充実を図っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
年2回の職員面談や職員による業務改善を称える「GOGOKAIZEN」等により取り組みに指導力を発揮している。具体例として大人用トイレ等の清掃業務を部外に委託し、保育業務の充実に取り組んでいる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
法人本部及び西日本本部において必要な要員配置や定数管理が決定されており、計画的な人材の確保や育成が常に行われている。必要要員は毎年見直しが行われている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
法人内で統一した人事考課制度を確立しており、統一基準による絶対評価で公平を図っている。各職員に対し、園長による年2回の職員面接の機会を通じフィードバックされている。法人本部でキャリアパスプランが策定されており、各リーダーの設定、資質向上の目標の設定が行われている。園での年間研修計画策定とOJT、法人で定めるところの通信研修受講費の補助等の仕組みが活用されている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
職員の就業状況を把握し、有給休暇の取得や就業規則による育児介護休暇、時短勤務等、ワーク・ライフ・バランスにも配慮した取組が行われている。毎年実施するストレスチェックにより個々に結果を知らせるとともに、集団分析結果に基づき職場環境の改善に向けた対策に取り組んでいる。年2回の園長と職員の面談等の機会を活用し、職員の意見を取り入れた職場の環境改善に取り組んでいる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

保育所版 評価結果シート② 【共通評価基準】

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が 確立されている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
個人目標は、園でのアクションプランを取り入れて職員個々により年度初めに作成している。園長との個人面談により個人目標の確定・共有が行われている。年度中間において個人目標の進捗を確認するための面接を行っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要なとされる専門技術や専門資格を明示している。
キャリアパスプランが策定され、それを踏まえて部内・部外研修の年間計画が策定されている。研修参加者は復命書を作成し、園内の他の職員に回覧されている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
研修の機会が確保されるよう年間の研修計画が策定されている。OJTについては対象者に対し一人の専門リーダーをトレーナーに指定し、保育士の専門職としての習熟度の確認を行っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を奨励している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の 研修・育成が適切に行われている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
実習生受入マニュアルを策定し、コロナ禍以前は受入れを行い、実習生の指導を行っていた。現在は、コロナ禍により感染防止の観点から受入れを見合わせているため、学校側との個別の実習生のプログラムの調整等を実施していないので、今後の対応に期待される。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	指導者に対する研修を実施している。
			<input type="checkbox"/>	オ	実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が 行われている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
法人本部の設置した園のホームページで理念や基本方針、保育内容等の情報を公開している。リンク先で第三者評価の受審結果、法人の財務情報、法人の各事業の情報等が公開されている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
公益財団法人としての内部統制システムが確立されている。事務のルール、職務分掌や権限・責任が明確にされ、職員に周知されている。運営状況は本部で把握され、2年毎に本部により内部監査が行われている。			<input type="checkbox"/>	ウ	保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	カ	外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。		

保育所版 評価結果シート② 【共通評価基準】

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	<input type="checkbox"/>	ア	地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
以前は地域との交流を行っていたが、園が移転したこととコロナ禍により停止となった。今年度から一部小学校との連携に向けて行動している。保護者や子どものニーズに応じ、専門機関とのパイプ役になり、社会資源を利用できるようにしている。園所在地域の特性を踏まえた関わり方の進め方については文書化には至っておらず、今後の取組が期待される。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
ボランティア受入れマニュアルで、受入れの基本姿勢を明確にし、登録手続きや事前説明等の項目が整備され、体制を確立している。中学校等の職場実習生を受け入れている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	学校教育への協力を行っている。
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
社会資源を明示したリストを作成し、職員への情報提供が図られている。虐待が疑われる子どもや、成長に心配のある子どもへの対応については、関係機関との連携を図っている。地域での共通した具体的な問題への解決に向けた取組や、ネットワーク化による問題解決を図る取組は行われていない。今後、連携を深めていくことが期待される。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ	地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ	地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
26	① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育所(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流や相談事業などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所のもつ機能を地域へ還元したり、関係機関・団体との連携、民生委員・児童委員等との定期的な会議の開催等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。(保育所)
私立保育協議会に参加し、福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。自治会における相談に応じている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。(保育所)
			<input type="checkbox"/>	イ	把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動(地域の子どもへの育成・支援、子どもの貧困への支援等)を実施している。
27	② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動(地域の子どもへの育成・支援、子どもの貧困への支援等)を実施している。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ	把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。
毎月、園庭開放や子育て支援の取組を実施し、地域の保護者に対し、子どもとの遊び方の提供や子育て等についての悩み相談に応じている。近くで土砂崩壊等が発生した場合に園舎を利用してもらうようにされている。具体的に計画等で明示するに至っておらず、今後の取組が期待される。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	多様な機関や地域住民等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所(法人)が有する福祉サービスの提供に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。

保育所版 評価結果シート② 【共通評価基準】

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	子どもを尊重した保育について、保育理念を基本とし、保育方針、教育・保育目標を設定し、共通認識をもとに実践されている。全国保育士会作成の「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を活用し、園全体で改善に向けた取組を行っている、		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)
29	② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 規定・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した保育が実施されている。
	保育の場(生活場面)におけるプライバシー保護について、保育マニュアル等でプライバシーへの配慮を明記し、設備でも工夫されている。子どもと保護者への周知もされている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
	法人本部の設置した園のホームページで理念や基本方針、保育内容等の情報を公開している。園内の様子は写真や園のブログ(一般向け)等で紹介されている。保育所見学は積極的に受け入れ、小冊子「入園のしおり」により丁寧に説明されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	入園説明会を開催し、「重要事項説明書」や小冊子「入園のしおり」等を活用し説明を行っている。保護者の同意を確認するための利用契約書を締結している。特に配慮が必要な保護者に対してもルール化された適切な対応がされている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	変更先には、保護者の同意を得て申し送り書を作成し、報告している。継続性に配慮した相談に応じている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
33	① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
	年2回実施している保護者個人面談や保護者アンケートにより、利用者満足やご意見要望等を把握している。把握した結果を分析し、改善できる点は具体的な改善を行っている。保育士は「子どもの声」を聞き逃さず、子どもが興味を持つ遊びを展開するよう工夫をしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。

保育所版 評価結果シート② 【共通評価基準】

	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	園長を苦情解決責任者、主任保育士を苦情解決担当者とし、民生児童委員2名を第三者委員に委嘱して体制を整備している。苦情解決の仕組みは玄関への掲示、冊子「入園のしおり」及び保護者用アプリへの掲載により保護者に説明されている。苦情の内容については記録を取り保管し、関係職員間での共有等、適切な取り扱いを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35		② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	保護者アンケートやご意見箱「みみちゃんボックス」を設置している。玄関壁面に「ご意見・ご要望を解決するための仕組みについて」を掲示している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
	アンケートやご意見箱等のご意見・ご要望は、改善できる点は改善している。年2回、保護者と担任との個人面談を実施し、子育てに関する相談に応じ意見交換を行っている。担任保育士で解決が困難な事柄については、園長・主任保育士に相談し、保護者にフィードバックしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	リスクマネジメント責任者も定められ、事故防止その他の安全管理のマニュアル等も作成されおり、対応訓練等も実施されている。会議録、記録等も作成されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	感染症対策についても予防や発生時の対応マニュアル等が整備されている。又、保護者用アプリに掲載し、園内の発生状況等も把握できるようにされている。毎年、発生時の対応についての職員研修も行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	災害時の対応体制が決められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	業務継続計画(BCP)が作成され、全職員に周知されている。又、計画に基づいた定期的な避難訓練への取り組みや災害時の対応マニュアル等も整備されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	防災計画等を整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

保育所版 評価結果シート② 【共通評価基準】

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	標準的な実施方法が適切に文書化されている。
判断した理由・特記事項等 標準的な実施方法や保育の手順書が、明確に表示され、全職員の共通理解のもと、保育が行われている。			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
				ウ	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
				エ	標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
				オ	標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
判断した理由・特記事項等 標準的な方法も日常保育の中で生じた課題も、職員会議等に持ち寄り話し合わせ、反省等も含め検討し、次の取組に生かすようにされている。			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。
				ウ	検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
				エ	検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画作成の責任者を設置している。
判断した理由・特記事項等 入園時までの生育歴や家庭環境、現在の様子等を把握しながら、全職員で話し合い、保護者の意向も踏まえつつ、受け入れ時から就学までの成育の見通し、見守りに向けた取組が計画的に行われている。			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
				ウ	さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
				エ	全体的な計画にもとづき、指導計画が作成されている。(保育所)
				オ	子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)
				カ	計画の作成にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)
				キ	指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)
				ク	支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
判断した理由・特記事項等 年度末に評価・見直しを行い、職員会議等で話し合い、保育の質の向上に向けた取組がされている。			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
				ウ	指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。
				エ	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
判断した理由・特記事項等 個人発達記録は適切に記録され、必要に応じて職員間での共有化もされている。			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
				ウ	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
				エ	保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
				オ	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
				カ	コンピュータネットワークや記録ファイル等を通じて、事業所内で情報を共有する仕組みが整備されている。
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
判断した理由・特記事項等 園児の個人ファイル等は、個人情報の規程を遵守し、記録の管理も徹底されている。			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
				ウ	記録管理の責任者が設置されている。
				エ	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
				オ	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
				カ	個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

保育所版 評価結果シート③ 【内容評価基準】

【自己評価の実施にあたって】

- 第三者評価基準「評価の着眼点」や「評価基準の考え方と評価の留意点」を参考に自己評価をしてください。
- 評価結果は、「自己評価結果欄」のドロップダウンから選択してください(「a・b・c」)。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「☑欄」のドロップダウンから選択してください(「□・☑」)。

A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
1	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a	☑	ア	全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて作成している。
全体的な計画は、保育所保育指針などの趣旨を捉え、地域の子育て世代の状況を鑑み合わせて、子どもの発達の状況を把握しつつ、職員参画のもと作成されている。			☑	ウ	全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して作成している。
			☑	エ	全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して作成している。
			□	オ	全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の作成に生かしている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	☑	ア	室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
園内は木の温もりが感じられ、廊下や階段にも工夫が見られ、子どもがゆったりとした生活ができる場となっている。子どもが作成した作品が展示され、生き生きとした遊びの継続性が感じられる。			☑	ウ	家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			☑	エ	一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			☑	オ	食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			☑	カ	手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	☑	ア	子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
子どもの気持ちを温かく受け止め、その気持ちに寄り添った保育が行われている。			☑	ウ	自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			☑	エ	子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			☑	オ	子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			☑	カ	せかず言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	☑	ア	一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
一人ひとりの子どもの成長段階を把握し、子どもの気持ちを尊重しながら、自分でしようとする意欲を育てている。			☑	ウ	基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			☑	エ	一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			☑	オ	基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	☑	ア	子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
各保育室のコーナーづくり等にも工夫が見られ、子どもが自ら進んで遊びに取り組むことができるような環境を整え、主体的に活動できるような配慮がされている。			☑	ウ	遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			☑	エ	戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			☑	オ	生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。
			☑	カ	子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			☑	キ	社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。

保育所版 評価結果シート③ 【内容評価基準】

			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ケ	地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	コ	様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。
6	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	一人ひとりの子どもの家庭からの継続性に配慮し、特定の保育士との愛情豊かな応答的な関わりを通して、愛着関係を育む保育が行われている。又、保育士の手作り玩具等を多く用意し、興味や関心を促す工夫がされている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの表情を大切にし、応答的な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
7	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	保育者との信頼関係を築き、自我の育ちも受け止めつつ、自分でしようとする気持ちを大切にしながらさりげなく援助することで安心して生活や遊びが出来るような取組がされている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等が、友だちとの関わりの中を立ちを促している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
8	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	子どもの思い、興味や関心を大切に、一人ひとりに合わせた言葉かけや援助がされている。年齢に応じて、それぞれが集団の中で個々の力が発揮できるような環境が整備されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			<input type="checkbox"/>	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
9	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	個別の保育計画を作成し、子どもの成長に応じた保育が行われている。必要に応じて他の専門機関と連携し、情報共有を行いながら取り組んでいる。又、職員も積極的に研修等に参加し、子どもの理解に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input type="checkbox"/>	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
10	⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	在園時間が異なる中において、家庭的でゆったりと過ごせるような環境に配慮し、保育者とのスキンシップ等にも心掛け柔軟な対応がされている。保育士間の引き継ぎは、引継ぎノートと共に口頭でもしっかりと伝え、確実に保護者に伝達出来るようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもの在園時間や生活リズムに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。

保育所版 評価結果シート③
【内容評価基準】

11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づき、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	小学校との交流・引き継ぎ等の計画は予定されているが、新築移転後から、新型コロナウイルス感染症の流行期に突入してしまい、達成はできていないので今後に期待される。保育所児童保育要録は、一人ひとりの特性や成長過程を踏まえて丁寧に作成されて、それぞれの小学校に送付されている。		<input type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			<input type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
A-1-(3) 健康管理		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	子どもの健康管理については、マニュアル・計画・記録を作成し、それに基づいて一人ひとりの健康状態に関する情報等を関係職員で共有されている。乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識も全職員に周知し、意識を高めると共に、書類も整備されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
13	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	健康診断・歯科健診結果については、職員に周知し、保育に反映すると共に、保護者にも伝えて、必要があれば受診等を勧められている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家庭での生活に生かされ、保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
14	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	アレルギー疾患、慢性疾患等については、保護者と連携し、医師の診断書に基づき、適切な対応がされている。職員にも研修等で、必要な知識や情報を伝えて、より意識を高めるための取組がされている。配膳時も確認の上に、更に誤食等がないか状況確認がされている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
A-1-(4) 食事		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
	食育計画を作成され、子どもが楽しい雰囲気の中で、落ち着いて食事ができるように、食事スペースが配置されている。子どもの発達に合わせた食器や食事の援助の方法が工夫されている。菜園活動を行い、収穫するまでの苦労や命の大切さが実感できるような取組がされている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
16	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。

保育所版 評価結果シート③ 【内容評価基準】

衛生管理体制も確立され、行事食や季節感のある献立等も取り入れて子どもが喜んで食べることが出来るよう工夫されている。 栄養士や調理師が各クラスに入り、子どもの食事の様子を把握したり調理の様子なども伝えたりしている。 給食会議等において、職員の意見等も参考に子どもの喫食状況も踏まえた献立が作成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	キ	衛生管理体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
連絡ノートやスマホアプリでその日の様子などの情報交換が行われている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
必要に応じて、保護者との個人面談や情報交換が行われ記録もされている。			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
A-2-(2) 保護者等の支援		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等からの相談に応じる体制がある。
保護者とは、日々の送迎時、連絡帳、スマホアプリ等を活用して、信頼関係が築けるよう取組み、相談等にも柔軟な対応ができる体制が構築されている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
園での子どもの様子や関わり方等が参考となるように、保育参観や保護者の希望を随時受け入れて、保育所見学なども行われ子育て支援に繋げている。			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
虐待に関するマニュアルをもとに、日々の子どもの状況・変化、保護者の様子を見逃さず、気づきがあれば職員間で共有し、園長を通じて関係機関に通告できる体制づくりがされている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ マニュアルにもとづく職員研修を実施している。

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
20	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
保育士は、常に自らの保育実践を振り返り、自己評価を行い先輩のアドバイス等にも耳を傾け、保育の質の向上に真摯に向き合っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。